

谷戸公民館

ラブリート・クラシック・コンサート

～イギリス・フランス音楽をピアノとお話で～

オリンピック直前に、宝石みたいに輝く、イギリスやフランスの素敵な音楽を体験して一足早くこの夏を楽しみましょう。

特別表のとおり 日曜日 13時半～15時半

場 谷戸公民館

対 市内在住・在勤・在学の小学4年～概ね30歳まで

定 20人(申込多数の場合抽選)

講 穂地貴子(ピアノスト)

申 7月9日(月)までに電話またはメールで谷戸公民館へ。定員に満たない場合は10日以降受付順。

✉ メールでの申込

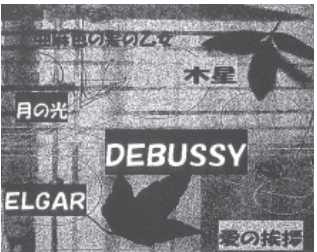
① メールアドレスは1面参照

② 件名「クラシック講座申込」

③ 本文「氏名・電話番号・住所・年齢」を明記

*メールは小学生の場合、保護者がお申込ください。

回	月日	内 容 (主な演奏予定曲)
1	7/15	カラフルで色彩豊か、ドビュッシーとフランス音楽 (ドビュッシー「月の光」「亜麻色の髪の乙女」「アラベスク」、マスネ「タイスの瞑想曲」、サティ「ジムノペディ」など)
2	7/22	オリンピックの舞台、イギリスにまつわる音楽 (エルガー「愛の挨拶」、ホルスト「木星」、ヘンデル「私を泣かせてください」、モーツァルト幼少期の曲など)



西東京市の予算と

決算をトコトン理解する

保谷駅前公民館

予算書を見たことがありますか。私たちの暮らしの根拠になっている予算と決算について、内容やしくみを一緒に調べてみませんか。

特別表のとおり

時 木曜日14時～16時

場 保谷駅前公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 20人(申込順)

講 大和田一祐(NPO法人多摩住民自治研究所 理事長)

申 7月2日(月)14時から電話で保谷駅前公民館へ

回	月日	内 容
1	7/19	市民が財政を学ぶことは地域力をアップする
2	7/26	予算はどうやって決まる?
3	8/9	予算書にどんなことが書いてある?
4	8/30	市の独自の施策とは?
5	9/6	決算カードでわかること:歳入のしくみ
6	9/13	決算カードでわかること:歳出のしくみ
7	9/27	決算カードでわかること:貯金と借金を中心に
8	10/4	決算カードでわかること:合併に関係のある金額や指標を探そう
9	10/18	決算書でなにがわかる?
10	11/1	他市の予算、決算と比べてみる
11	11/8	来年の予算にみんなの声を反映するには

谷戸公民館

ちよっとゆらしたただけで、パタパタ走り出す、おもしろ人形を作ってみよう。これで、夏休みの工作は決まりました!

時 8月8日(水)10時～12時

場 谷戸公民館

対 市内在住・在学の小学生 20人(申込順)

講 児玉真理(人形劇団ブーク)、パペットシアターヤン助

定 600円(材料費)

持 使い慣れたはさみ

申 7月5日(木)10時から電話で谷戸公民館へ

谷戸公民館



手作りドレッシング

～食の安全は手作りから～

身近な調味料を組み合わせることができる、簡単でおいしいドレッシングの作り方を紹介します。

時 7月10日(火)10時～12時

場 谷戸公民館

対 市内在住・在勤・在学者 20人(申込順)

講 元子(東京第一友の会)

料 理 各種講座講師、東京第一友の会南沢方面の会員

定 130円(食材費)

持 エプロン、手ふきタオル、はし、小皿1枚

申 7月2日(月)10時から電話で谷戸公民館へ

保谷駅前公民館

きれいな紙をすくって、紙を作ろう!

子ども対象

手すきをして紙を作ります。材料を水に溶かしてすくいと、世界中でたった一枚のきれいな紙を作る体験をします。

時 7月29日(日)14時～16時

場 保谷駅前公民館

対 市内在住・在学の小学生 20人(申込順)

講 川端寛子(社会福祉法人・おおぞら会アクティビティ)

料 300円(材料費)

持 エプロン・タオル

申 7月4日(水)10時から電話で保谷駅前公民館へ

保谷駅前公民館

第4回 音楽サークル発表会

シンフォニックコンサート

保谷駅前公民館を利用しての音楽サークルが、日ごろ練習している成果を発表します。夏の午後のひと時、ご家族でお気軽にお出かけください。

時 7月28日(土)14時～16時

場 保谷駅前公民館

出 演

① ドイツの詩と音楽の会 (曲目「オンブラマイフ」ほか)

② ハーモニード(西東京)&はもにか・かふえ(曲目「遠くへ行きたい」ほか)

③ うたごえ合唱団(曲目「青葉の笛」ほか)

④ ピッコロ音楽館(曲目「ラクンパルシート」ほか)

⑤ コール・ソレイユ(曲目「ひまわり」ほか)

▼当日直接会場にお越しください。13時45分から受付します。

保谷駅前公民館

世界に一つの樹木図鑑を作ろう

ご家族で参加ください

いろいろな樹木の観察をして枝や葉を採集し、自分だけの図鑑を作りませんか。夏休みの宿題にもなり、たくさんのお名前を覚えて木と友達になりましょう。

時 7月22日(日)10時～15時

場 東京大学田無演習林(バス停「六角地蔵尊前」に集合)

対 5歳以上のお子さんのいる家庭

定 15組(申込順)

持 水筒、弁当、筆記用具

申 7月3日(火)10時から電話で保谷駅前公民館へ

*東京大学大学院田無演習林と共催

虫除けなど

服装 長袖、長ズボン、帽子

講 楠本大(東京大学大学院農学生命科学研究科助教)、前原忠(同助教)、安村直樹(同講師)、芝野伸策(同技術専門員)、栗田直明(同技術専門員)

申 7月3日(火)10時から電話で保谷駅前公民館へ



昨年のコンサートの様子

公運審委員会

地域の人と支えあう

公運審委員 渡辺 文子

防災への関心が高まっている。地域の有志が自主的に開催した「防災セミナー」に参加しました。市の防災出前講座を活用した内容で参加者の大半が高齢者でした。真剣な質疑応答が繰り返されました。その中で印象的だったのは、大地震の被害を最小限に抑えるには、

① 自分の身は自分で守るという意識で取り組む「自助」

② 地域の人と支えあう「共助」

③ 行政など公的機関が取り組む「公助」

のどれもが必要との事。

我が家は十七年前の阪神淡路大震災で被災しました。神戸市灘区のマンションの十一階に住み突然の大地震の直撃で家中の全ての物が倒れ、壊れ、死を覚悟しました。幸い命は助かりましたが、その夜から避難所暮らしとなりました。

余震の続く中、疲労と不安でいっぱい被災者たちは食料や寝具を分け合い、病人や高齢者の世話をし、励ましあいの日々でした。それは見事な助け合いの姿でした。私たちは多くの物を失いましたが多くの真心を受けました。この時ほど地域のふれあいの大切さを有り難く思った事はありませんでした。

今の日本、いつ大震災が起きるか分かりません。公民館の役割は大きく、常日頃から人と人の繋がりを高め災害に強い町づくりの推進を願っています。

